

多面的機能支払交付金 活動事例紹介

記憶にも残る、ふるさとのために



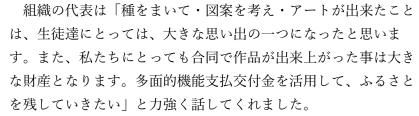
1.組織の概要

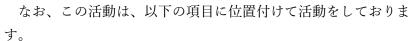
上三谷地域資源保全推進会は、伊予市で活動する組織です。こ の活動組織は、平成19年度から交付金活動を開始しており、現 在活動を行う対象農用地は、水田 74.8 ha と普通畑 32.5ha で農 地の多くは、水田です。組織の活動としては、農地維持、資源向 上(共同・長寿命化)のすべてに取り組んでいます。



2. 生徒たちと協力して

例年、活動組織ではコスモス祭りを開催し、地域住民との意見 交換・交流を図ってきましたが、今年度は自治会等による大きな 祭りを開催するため、コスモス祭りを開催しないことになりまし た。しかし、地域の子供たちの思い出を作りたいとの強い思いか ら、初めての試みとして、コスモスアートに取り組むことにしま した。種まきは中学校の生徒と協力し、コスモスの開花に併せて 中学生と考えた絵をもとにコスモスを刈り取ることで、絵が浮か び上がる工夫をしました。





- ④遊休農地発生防止のための保全管理
- 45植栽等の景観形成活動
- ⑤啓発・普及活動
- 切やすらぎ・福祉及び教育機能の活用 (一部抜粋)



3.これからについて

組織代表は「学校との連絡では、スマートフォンの コミュニケーションアプリを用いており、情報交換を スムーズに連携できる環境にあった。組織間でも、農 業用施設等の補修が必要な場所の情報を共有してい る。便利なものはどんどん使っていきたい」と話して いました。





